

大阪Reportレポート



長野県大阪事務所・観光情報センター Report Letter Vol.2 (2022.7.5)

関西の今<トピックス>

- <2025年大阪・関西万博>開催に向けた機運醸成 <https://www.expo2025.or.jp/>
 - ・「未来社会をデザイン」する万博、1,000日前(7/18)イベントが大阪や神戸で開催予定、「空飛ぶクルマ」有人試験機機体の特別展示も
 - ・大阪府とNTT・パナソニックなどの民間のバビリオン構想概要が次々公表、バンダイナムコは「機動戦士ガンダム」をテーマに未来体験を提供
 - ・全国の小中学校を対象に、万博とSDGsを学ぶ「教育プログラム」参加校の募集を開始
- <観光>インバウンドの本格再開へ膨らむ期待と準備着々
 - ・コロナ前に約4割を占めていた外国人宿泊者(*)など、訪日観光再開による需要回復に期待
 - *大阪府:39%(全国1位) 京都府:38%(全国2位) ((観光庁「19年宿泊旅行統計調査」))
 - ・本格回復時には高級ホテル(1泊10万以上)が1,300室不足するとの調査結果もあり、富裕層を取り込むため、ラグジュアリーホテル(*)の建設計画が続々
 - *大阪にヒルトン最上級「ウォルドーフ・アストリア」、初進出の「フォーシーズンズ」、「カペラ・シンガポール」、京都にタイ系最高級ブランド「デュシュタニ」など
- <産業>設備投資計画は引き続き旺盛も資源高騰や急速な円安の影響を懸念
 - ・クボタ、パナソニック、ダイキン工業など、脱炭素やデジタル化を含めコロナ禍で先送りされていた設備投資が本格化
 - ・一方でLNGを輸入している大阪ガスなどは、資源価格高騰や急速な円安が企業経営を直撃

大阪での取り組みの今

Vol.2では大阪でリアルに動き始めたイベントなどを紹介

- 最近の主・共催の取り組み例～リアルイベントが続々開催、関西久々の「リアルアルクマ」登場
 - 「神戸空港開港16周年記念イベント」(6/11.12・神戸ハーバーランド)
 - ⇒ 神戸松本便PR、アルクマステージなど12,200人来場
 - 「関東甲信越静岡6県の観光展」(6/17～18:神戸三宮地下街)
 - ⇒ 在阪事務所連携の夏秋観光PR展、49種類6,850部パンフ配付
 - 「初夏のさわやか信州フェア」(6/28～30:事務所内)
 - ⇒ 生あずきやおやき等の販売と夏の信州観光をPR
 - 「上高地あずき珈琲大阪ドーム店オープン」(6/22)
 - ⇒ 信州食材のメニューやマルシェも、大町市がキャンペーンを展開、「黒部ダムカレー」も登場
- 大阪の国際展示場も本格再開～リアルイベントが次々
 - インテックス大阪、グランキューブ大阪などでは、「AIロボット博」「鉄道展」などのイベントが次々に再開、「食祭展」(6/28.29:大阪国際会議場)では県内味噌メーカーが多数出展



